

# いなせなデイサービス

## 認知症対応型デイサービスだからこそできること！！

### 要支援でも利用しやすい！！



- 要支援の利用者を積極的に受け入れています
- 早い時期からの利用が進行の抑制に有効です
- 要介護に変更になっても通いながたデイサービスが使い続けられます
- 要支援でも少人数のきめ細かい支援がうけられます
- 入浴できます

### 要支援の利用回数

- 要支援1・・・1回／週
- 要支援2・・・2回／週

### 2倍以上の介護職員を配置！！

- 通常2～3人の利用者に対し1人の職員を配置しています

### スキルの高い職員のケアが受けられます

- 専門の研修を受講したケアマネや介護福祉士、認知症介護指導者、理学療法士が認知症に特化した専門的なケアをしています。

### 介護職員が多いので受けられる支援が多い！！

- お迎え時の支度の支援ができます
- 再度のお迎えもできます
- 体調不良時などの緊急時の対応ができます
- 食事作りなど個別の多様な生活機能訓練が受けられます
- 外出などの機能訓練を受けることができます
- 安否確認を受けられます



### ご家族が介護の相談など専門支援が受けられる！

- 認知症の介護相談をはじめ、介護全般の個別相談が受けられます。
- 通院や認定調査の際の情報提供を受けられます。

### ケアマネジャーへの支援

- 日々の情報提供を認知症の専門的な見地から行います。
- 担当者会議には積極的に参加できます。

### 要介護の利用回数

- 要介護1・2・3・・・4回／週
- 要介護3・・・4回／週
- 要介護4・・・5回／週
- 要介護5・・・6回／週

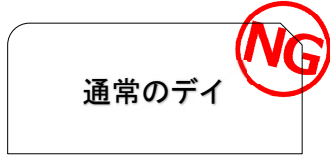
通常のデイサービスに比べ、少人数の落ちついた環境で、認知症の専門チームの支援が受けられます。さらに、職員の数が多いので、幅の広いきめ細やかなサービスが受けられます。なんでもご相談ください。



## 要支援でも利用しやすい

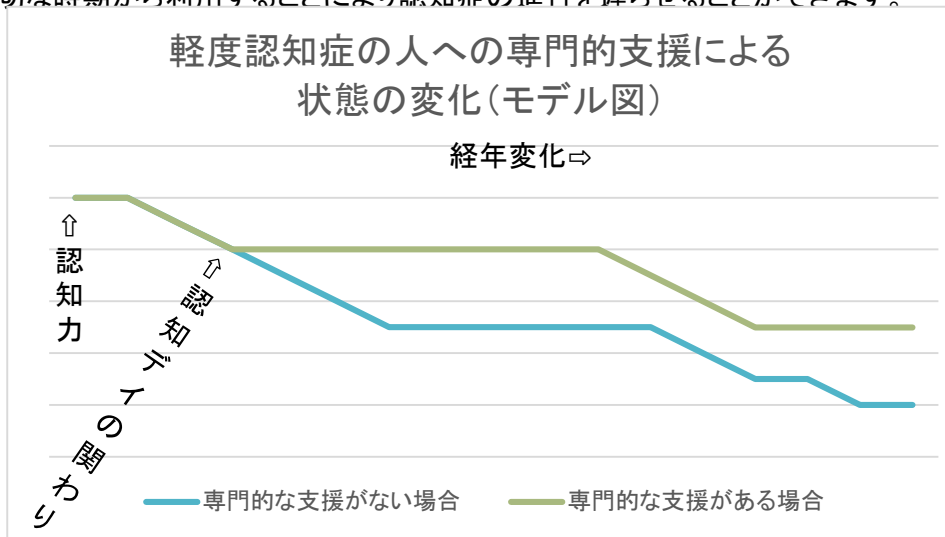
### 要支援の利用を積極的に行っています

※通常のデイサービスでは要支援の利用料が月額で安く設定されているため、事業者によっては積極的に利用の受け入れをしないことがあります。認知症対応型デイサービスでは要支援の報酬単価が要介護とさほど変わらずに1日ごとに設定されているので要支援の受け入れがしやすくなっています。



### 早い時期からの利用が認知症の進行抑制に効果的です

※認知症対応型デイサービスでは、要支援でも利用しやすいので、早い時期から利用することが可能です。適切な時期から利用することにより認知症の進行を遅らせることができます。



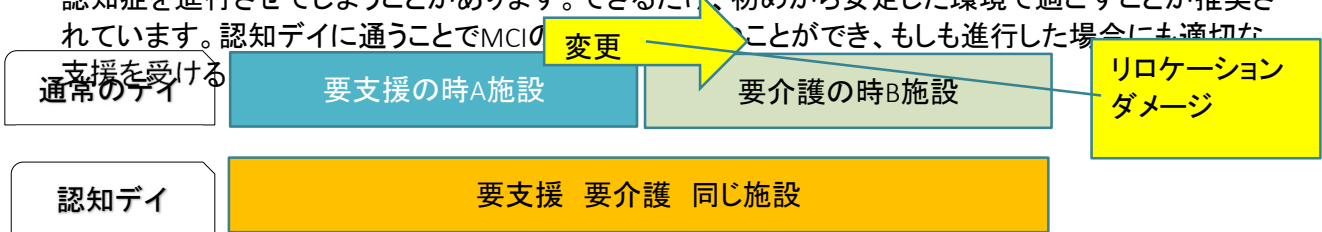
### 要支援でも入浴できます

※通常のデイサービスでは要支援の方の入浴サービスを受けることができない場合がありますが、認知症対応型デイサービスでは入浴加算があることから入浴サービスを積極的に受けることができます。



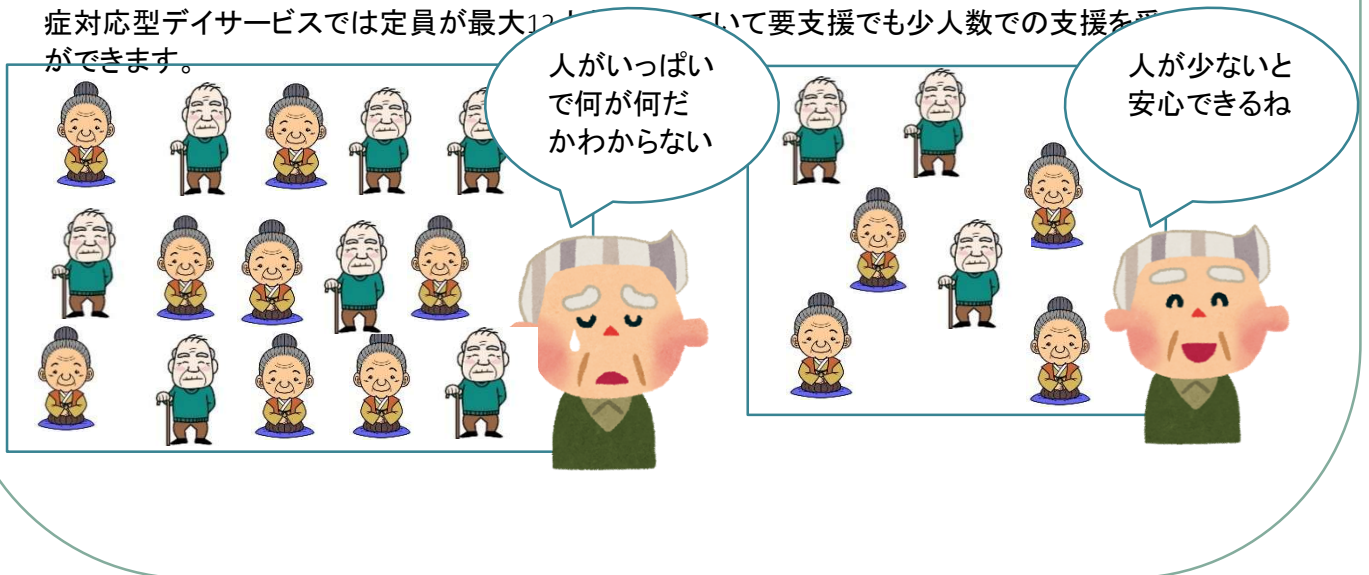
要支援から要介護の変更になった場合でも、そのまま利用を続けられます。

※認知症の人は環境の変化に大きな影響を受け(リロケーションダメージ)、そのためにいたずらに認知症を進行させてしまうことがあります。できるだけ、初めから安定した環境で過ごすことが推奨されています。認知デイに通うことでMCIの



要支援でも少人数の支援が受けられます。

※通常のデイサービスでは要支援一人当たりの介護報酬が少ないため大人数でのサービスを提供することが普通です。認知症状があると大人数で過ごすことがとても難しいことが多くなります。認知症対応型デイサービスでは定員が最大12人まで減らされていて要支援でも少人数での支援を受けることができます。



## 要支援の利用回数

認知症対応型デイサービスでは要支援でも利用料は1回ごとに決まっています。  
通常のデイサービスでの利用料金は1か月ごとに利用料金が決まっていますが、1回ごとに利用料金が決まっていますので、とても分かりやすく納得感があります。

要支援1 856単位/回  
区分支給限度額すべて使うと、週に1回利用できます  
(区分支給限度額/5,032単位)

要支援2 956単位/回  
区分支給限度額すべて使うと、週に2回利用できます  
(区分支給限度額/10,531単位)

### 通常のデイ



1か月に何回使っても同じ料金なの？  
3回でも10回でも同じ？

### 認知デイ



1回ごとの利用料金なのでわかりやすいね

## 介護職員を多く配置しています

通常のデイサービスと比べると倍の人員配置となっています。

通常のデイサービスは利用者15人に対して介護職員1名の配置が義務付けられています。

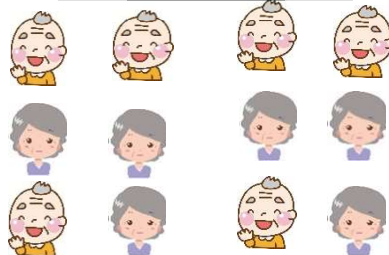
認知症対応型通所介護では利用者12人に対し2名の介護職員の配置が義務付けられています。

つまり、2倍以上の介護職員の配置が義務付けられています。だから、認知症の人を適切に支援することができるのです。

### 通常のデイ



### 認知デイ



## いなせなの介護職員配置

### 介護員の職員の数を既定の倍の人数を配置しています

介護保険法令上、認知症対応型デイサービスは介護職員の配置が通常2人でよいところ4人の介護員を配置しさらに手厚い支援を行う体制を整えています。

#### 認知デイ



#### いなせなデイ



### 介護福祉士、ケアマネジャーの割合

当社の介護部門の職員10名の内7人が介護福祉士です。しかも、その内2名はケアマネの資格を取得しています。これだけ有資格者が多いのもいなせなの特徴です。いなせなでは多くの専門職のマネジメントを受けながらの支援が可能です。



## 認知症の専門支援

### 管理者は研修の義務があります

通常の通所介護には認知症に対する研修を受講する義務はありません。

しかし、認知症対応型デイサービスの管理者になるには**認知症介護実践者研修**と**認知症介護管理者研修**を受講する義務があります。そのため、認知症に対する理解や対応ができるようになっていきます。

ちなみに・・・

### 実践者研修の内容

介護保険事業所や介護保険施設の職員の方を対象に、認知症高齢者に対する介護サービスの充実を図ることを目的とした実践的な研修を行います。

認知症の状態にある人が有する能力に応じ自立した日常生活を営むことを支援する専門職を目指して

「認知症についての知識」「専門職としての姿勢と視点」「課題解決の方法」などを学びます。

### 管理者研修の内容

認知症介護を提供する事業所を管理する立場にある方を対象に、

認知症高齢者に対する介護サービスの充実を図ることを目的とした実践的な研修を行います。



## いなせなの認知症の専門支援

### 認知症介護指導者の職員教育

認知症介護研究・研修センターでは、平成13年度より全国の老人福祉施設や在宅サービスの現場等にその成果を普及させることを目的として、認知症介護の専門職員の養成を行っています。

認知症介護指導者は、当センターが実施する認知症介護指導者養成研修を受講後、認知症介護の専門職員として認知症介護実践者研修等について企画・立案に参画し、講師として全国で活躍しています。また、介護専門職に対する人材育成の関与に加え、認知症介護指導者自身が所属する事業所を中心とした地域の指導者としての役割も担っています。平成27年度末現在、全国で約2,000名の認知症介護指導者が人材育成や地域の認知症ケアの質の向上のために活躍しています。

いなせなでは代表と他1名が認知症介護指導者です。代表が中心になりOJT、OffJT、ケーススタディを通じ

## 介護職員を多く配置しているからできること

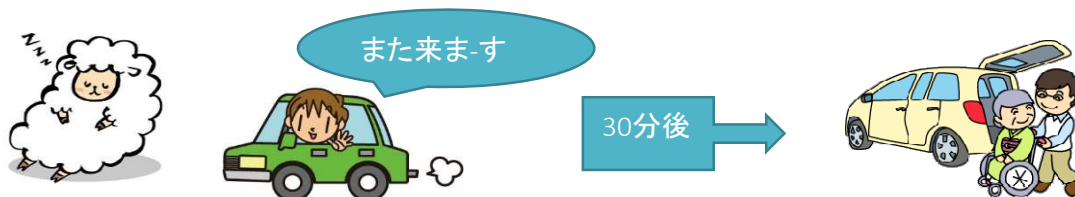
### お迎え時の支度の支援

一人暮らしの方のお迎えで困ることと言えば、荷物の準備ができていないことや、着替えがうまくできていないことがあります。そのために訪問介護を30分未満(245単位)でサービスに入れて対応するなんてことがあります。しかし、人員を多く配置しているいなせなでは、小型車でのお迎えに行き荷物を準備して、着替えるのを支援することができます。訪問介護の費用負担を考えると単位が節約できると思います。



### 再度のお迎え

認知症になるとその日の日課を忘れてしまったり、デイサービスに行く意味を理解できなかったりすることで、デイサービスに行きたくないと言われなかなか準備ができずに、ご家族が困らされてしまうこともあります。そんな時には、いなせなでは再度お迎えに行くことで、ゆっくり準備していただくことやご家族と一緒に説得することもできます。



### 体調不良時などの緊急時の対応

高齢者は急に体調を崩してしまうことが若い人に比べ多くあります。中には救急車対応が必要になることがあります。そのような場合、多くのデイサービスで、いなせなでは十分な人員が配置されているので、ご家族が安心して対応することができます。



### 個別の生活機能訓練の実施

介護職員の人員配置(利田者対介護職員)が通常のデイサービスでは15対1なのに比べ、いなせなでは2対1~3対1と大変少ないです。そのため、生活機能訓練を個別にきめ細やかに実施することができます。また、利用者も積極的に参加して、生活機能訓練を受けられます。



## 家族への認知症の専門支援

**ご家族は認知症の介護の仕方などの専門的な支援を受けることができます。**

認知症の症状をもつ方の介護は、多くのご家族の場合初めての経験となります。通常的生活を送られてきた多くの経験や知識だけでは対応が困難な場合が多く、そのことによりご家族の生活までも困難な状況になることが多くあります。それを解決し出来るだけ長くご自宅でご家族と暮らすためには、専門的な知識や経験に基づくアドバイスが必要になります。

いなせなでは定期的にぞ家族を訪問することにより、現状の把握や課題分析、その解決方法など認知症高齢者の介護にまつわるあらゆる支援が受けられます。



認知症があっても一緒に生活する方法を提案します



**通院の際の情報提供を受けることができます。**

認知症の症状をDrに伝えることはとても難しいものです。それはDrは短い時間でその人を観察し情報収集しなければならないのですが、認知症は生活環境において困った症状が出るので、クリニックの一室ではそれを観察することは非常に困難だからです。そのため、御家族など身近に介護している者からの情報収集が必要になるのですが、短い時間で的確に情報を伝えることはご家族には大きな負担となります。多くの場合にはDrに何を尋ねられているのかわからないこともあります。その結果として、不適切な治療となってしまうことがあります。

そこで、いなせなでは身近で介護をしている専門職として専門的な見地からの情報をペーパーにまとめたり、必要な場合には通院に同行したりしながら、適せつな医療が受けられるように支援していきます。



デイサービスの職員が症状を伝えるお手伝いをします

## 認知症の専門医と協力体制

いなせなでは認知症の専門医と協力関係にあります。

認知症状には代表的な原因疾患のアルツハイマーの他にも多くの原因疾患があります。

その疾患の中には治療し認知症が治ることもあります。

また、中には特別な支援が必要な疾患の場合もあります。

認知症の疑いがある場合には、認知症の専門医を受診することが大切になります。

その場合に、医学的な検査に加え、日常の様子の情報も診断にとっても大切なこととなります。

認知症デイサービスに通うことによって日常の様子を医師に伝えることができます。



## ケアマネジャーへの支援

**担当者会議など積極的に参加し認知症に対する適切な提案を行います。**

いなせなでは人員配置を多く配置していますので、担当者会議に積極的に参加することができます。その中で適切な情報提供、課題分析のお手伝いなど認知症高齢者への支援の提案を行っていき、ケアマネジャーのみなさんのお手伝いを行います。

**日々の情報提供を認知症の専門的な知識からおこないます。**

バイタルや日々の機能訓練の様子、認知症や身体状態の変化など専門的な知識と経験から情報提供を行っていきます。

**認定調査時の情報提供を十分に行います。**

認定調査時にその人の状態を正確に伝えるのには苦勞します。特に独居の場合、通所介護での様子を伝えることが適切な認定調査にとっても役立ちます。そこで、いなせなでは認定調査のための情報提供を積極的に行っています。

## 地域との交流を行うことが法律で認められています

### 通常のデイサービスと認知症対応型デイサービスの法律の比較

介護保険法の具体的取扱い方針の中に見られるように、認知症対応型通所介護だけに次の文言が見られます。「利用者が住み慣れた地域での生活を継続することができるよう、地域住民との交流や地域活動への参加を図りつつ、利用者の心身の状況を踏まえ、妥当適切に行うものとする。」

このことにより、事業所に閉じこもってばかりでなく、どんどん外出して住み慣れた地域での生活が継続できるように交流や活動をすることが出来るということが、通常のデイサービスとは異なることです。例えば、スーパーへの買い物なども含まれますので、生活機能訓練の選択肢はとて多く提供する事が可能です。

## 要介護での利用可能回数の比較

要介護での利用回数を比較すると次のようになります

	認知対応型通所介護	普通の通所介護
要介護1	4回/週	5回/週
要介護2	4回/週	5回/週
要介護3	4回/週	6回/週
要介護4	5回/週	6回/週
要介護5	6回/週	7回/週

認知症対応型通所介護の場合1週間の最大の利用は普通の通所介護に比べ1回少なくなります。

## 要介護での利用可能回数の比較

利用料の差に比べ受けるメリットが多い

1週間毎日利用したいという方にとって、1週間の最大の利用回数が少ないことは大きなデメリットでしょう。しかし、多くの場合1週間に2~3回の利用ということが多いのではないのでしょうか？

その場合、1回の利用料の差が最大の要介護1で190単位、最小の要介護5では72単位です。みなさんはこのわずかな単位の差をどのように評価するのでしょうか？この金額の差でこの充実したサービスが受けられるとしたら、認知症デイサービスの利用料金はリーズナブルと言えると思います。

	普通のデイサービス	認知症デイサービス	差
要介護1	810	992	182
要介護2	947	1100	153
要介護3	1088	1208	120
要介護4	1228	1316	88
要介護5	1368	1424	56

利用時間7-8で1回当たりの単位を取っています。  
通常のデイサービスは地域密着型で単位をとっています。  
認知症加算(60単位)込みの単位です。

	区分支給限度額
要介護1	16765
要介護2	19705
要介護3	27048
要介護4	30938
要介護5	36217

いなせなの生活機能訓練メニュー

いなせなでは生活機能訓練を行っています。

食事	食器拭き 食器片付け 食器棚への片付け 食事作り メニュー決め ランチョンマットの準備 手拭きの準備 箸袋詰め 昼食用食器必要枚数準備 昼食用食器を水で流す 昼食用食器拭き 昼食用食器運び 水切り籠片付け 食事テーブルセッティング 盛り付け 配膳 お茶入れ 食器洗い トレーの片付け
----	---

買い物	買い物
-----	-----

畑	畑仕事
---	-----

その他日常	ティッシュの箱詰め レジ袋たたみ メモ用紙作り クーリングタオル作り トレー仕分け メモ用紙作り 箸袋作り ペーパータオル補充
-------	--

基本	コミュニケーション タクティールケア マッサージ 足浴 手浴 自力で飲み物を飲む 自力で食べ物を食べる 自分で爪切りをする 日光浴 歩行訓練 立位保持 脳トレーニング 散歩 立ち上がり訓練
----	---

洗濯	洗濯機操作 洗濯物たたみ 洗濯物干し 洗濯物片付け
----	------------------------------------

レクリエーション	DVD、HDD鑑賞 ジェンガ 歌 オセロ 折り紙
----------	--------------------------------------

掃除	床掃き掃除 コロコロ掃除 掃除機かけ カーテンフック外しつけ キッチン掃除 玄関掃除 テーブル拭き ハンディーモップがけ 椅子拭き ゴミ集め 換気(窓開け) アルコール消毒拭き 食器棚拭き
----	--

体操	新潟体操 元気でまっせ体操 腰痛体操 ボール体操 肩甲骨体操 ラジオ体操 足あげ体操 快便体操 キャッチボール クッション投げ コサックダンス ピンポンリレー ボール体操 ボール玉入れ ボール蹴り 首肩のセッティング 口腔体操 かかと体操 転倒予防体操 立ち上がり体操 腰振りダンス 指体操 足のストレッチ 腹式呼吸 ワキワキ体操 腕、大腿筋肉強化 風船バレー
----	--

脳トレ	早口言葉 言葉の組み合わせ ボールペンつかみ 負けじゃんけん クイズ 都道府県クイズ 魚編の漢字クイズ あやとり 有名温泉所在地クイズ 描画 おはじき 日本県名言葉の遊び
-----	--